

2017  
~  
2018  
年度版



韓国  
ソウル市  
韓国  
安東市  
中国  
重慶市

インド  
ケララ州

シンガポール



聖隷クリストファー大学

# 国際交流ガイドブック

International Exchange Guide



アメリカ  
ハワイ州

アメリカ  
カリフォルニア州

アメリカ  
テキサス州



ブラジル  
サンパウロ



保健医療福祉の総合大学

聖隷クリストファー大学

お問い合わせは[国際交流センター]へ

TEL 053-439-3263

ホームページ <http://blg.seirei.ac.jp/intl/top.html>

研修先のサミュエルメリット大学はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ郊外にある保健医療系の学部・大学院をもつ大学です。人口200万人を擁す北カリフォルニア地域最大の高度医療専門病院と連携し、米国西海岸を代表するヘルスサイエンス系大学として地域保健医療のリーダー的役割を担っています。



## 一歩前へ 踏み出す勇氣

大隅 諒子 看護学部3年

アメリカで印象に残っている光景があります。「何か質問はありますか?」の問いにアメリカの教員達がほぼ全員挙手をして意見を述べていたことです。

日本では周りの目を気にして自分の意見を伝えることができないという人が多いのではないのでしょうか。私もその中の一人でした。

しかし、アメリカの人達の積極性とそれぞれの個性が輝いている環境にいたからか、私自身も自分の考えを大切に、行動に移せるようになっていきました。新しいことに挑戦することは不安が伴いますが、行動してみれば新しい世界に出会うことができます。

この研修で新しい自分と出会い、やればできるという自信を持つことができました。



## 施設・病院見学

### 研修だからこそ 出来る経験を



松下 由依 看護学部3年

私は今回この研修の施設見学を通して、今迄に知らなかったことをたくさん学び、吸収することが出来ました。現地では病院やホスピス、老人ホームなどを見学しました。病院では看護師さんに同行して実際の仕事を学ぶシャドウウィングをさせていただきました。

ここでは、人種、体格の違い、貧富の差に関係なく平等な看護ケアが提供されていたのが印象的でした。また、小児ホスピスでは、子供とその家族のための設備が充実していて最期まで家族と一緒に過ごせるようになっていました。

この様に、施設見学では実際に自分の目で見て日米の看護のシステムや環境違いを認識することができ、この研修だからこそできたとても貴重な経験となりました。



## 観光・料理

### 景色・料理に感動の連続!!

鈴木 花 看護学部3年



アメリカではSMUの学生が様々なところに案内してくれました。中でも印象に残っているのがフィッシャーマンズワーフとロンバードストリートにケーブルカーで訪れたことです。坂が多い地域だったため移動中も様々な景色を見ることができ、アメリカの雰囲気を存分に味わいました。

ロンバードストリートはアメリカでも有名な道で見る景色も素晴らしく、たくさんの写真を撮り良い思い出の1ページになりました。フィッシャーマンズワーフではその大きさに驚きながらもクラムチャウダーをお腹いっぱいになるまで味わい尽くしました。日本と料理のボリュームが全く違うのでメニューを頼むときには注意した方がいいです!ホテルの近くにはショッピングモールやおなじみのダイソーもあり、日本より品数が多く、いい買い物ことができました。

## ホームステイ体験

### 不安に勝る素敵な時間



佐竹 実花 看護学部3年

「大学の先生のお宅にお泊りして…大丈夫かなあ」ホームステイするまで私は、自分の中途半端な英語でちゃんと会話ができるだろうかと不安な気持ちが強かったです。

でも実際にお会いしてみると、そんな不安は吹き飛びました。とてもフレンドリーな優しいご夫妻で、お会いしてからご自宅までの車の中で、私たちに沢山質問してくださいました。相手が何を言っているのか分からずに聞き返すと、もっと簡単な英語を使って答えて下さり、本当に良くして頂きました。

私たち学生が行きたいと言った、有名な教会やギラデリというチョコレートメーカーの本店など様々な場所に連れて行ってくださいました。本当に素敵な時間を過ごすことができました。



●概要 大学内にある最先端のシミュレーションセンターでの演習のほか、講義の受講、地域病院や高齢者施設などの見学等を通して、看護先進国であるアメリカの看護や福祉事情について学びます。

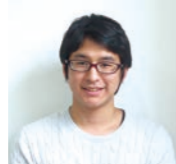
日程	スケジュール(2017.3.20~3.30実績)	
	AM	PM
1 土	中部国際空港発	サンフランシスコ国際空港着 ⇒ 終日フリー
2 日	歓迎、オリエンテーション、キャンパスツアー	講義:「アメリカのヘルスケアシステムにおける看護師の役割」、ウェルカムパーティー
3 月	演習:シミュレーションラボ(静脈内注射、IVポンプ、筋肉内注射)	演習:シミュレーションラボ(循環器系のアセスメント)
4 火	施設見学:George Mark Children's House(小児ホスピス)	講義:「アメリカのヘルスケア」
5 水	演習:「アメリカのヘルスケア」SMU学生の臨床経験について	サンフランシスコ観光
6 木	サンフランシスコ観光	ホストファミリーと対面
7 金	ホストファミリーと過ごす	
8 土	施設見学:John Muir Concord病院	
9 日	施設見学:St Mary's Center(支援施設)、St Paul's Tower(高齢者施設)	フェアウェルパーティー
10 月	サンフランシスコ国際空港発	
11 火	中部国際空港着	

研修先となるハワイ大学マノア校のジョンAバーンズ医学部内のCommunication Sciences and Disordersは、4年制大学卒業後、2年間でASHA (American Speech and Hearing Association)の受験資格を取得する修士課程です。このコースでは、1学年10~15名と少人数で密度の高い教育がなされています。

## 忘れられない思い出

### 樋口 登夢

リハビリテーション学部言語聴覚学科2年



私はアメリカ言語聴覚研修に参加して、様々な文化や医療に触れることができました。

日本でも上級学年になれば学ぶかとは思いますが、研修では、アメリカでの自閉症の子ども達との接し方、一人一人の患者様に合わせた訓練と評価の仕方など、多くの事が印象に残りました。そして自分に足りないものや自分のなりたいST像に気付くことができました。

一步踏みだして海外研修に参加して本当によかったです。これからはアメリカで体験したことを忘れず、日々の学習に活かしたいと思いました。他にもダイヤモンドヘッドやパールハーバーの観光、おいしいハワイアンフード、優しく陽気な現地の人々の交流などは忘れられない思い出です。

少しでも海外に興味があれば勇気を出して参加してください。



## 施設・病院見学

### 最新の機械や 訓練用具の多さに驚き



松永 美樹 リハビリテーション学部言語聴覚学科2年

初めに大学院附属の言語聴覚クリニックを訪れた時におもちゃの数に驚きました。私が日本の実習先で見た何倍ものおもちゃがありました。患者さん一人一人に合ったものを用意されていました。検査用具は見慣れたものから最新のものまでありました。医学部の図書館には人体構造を3D教材で見られるコンピューターシステムがあり、人体構造を立体で見られるのは想像がしやすくて良いと思いました。ハワイ大学は日本の大学とは違いカフェや文房具、衣類などを売っているお店があり勉強しやすい環境が整っていました。色々な機械や教材を見るたびアメリカは発展していて、言語聴覚士に与えられる資金が日本とは大きく違うと思いました。

この研修を通して、自分の見える世界が今までの何倍も広がりました。

## 観光・料理

### かけがえのない 思い出になりました



川上 里奈 リハビリテーション学部言語聴覚学科3年

初めての海外だった私にとって、研修で過ごした日々は何もかもが新鮮でした。初めの頃は大きなハンバーガーやホットドッグに驚きを隠せませんでしたが、どれもとても美味しく、ハワイの伝統的な料理にも舌鼓を打ちました。特に屋台で食べたガーリックシュリンプはイチオシです。新鮮なエビと香ばしいガーリックソースが食欲をそそります。

食事以外にもハワイの絶景は外せません。10日間でたくさんの景色を見ることができましたが、眼下に広がる青い海と白い砂浜には感動で言葉を失いました。あの美しい景色は二度と忘れることはないでしょう。



## 現地学生との交流

### 言葉を越えて 交流を楽しむ



鈴木 侑実 リハビリテーション学部言語聴覚学科2年

私達は、現地の学生さんと一緒に食事をしたり、授業を受けたり、お互いの国の文化に触れたりして交流を深めました。

ハワイ大学ではウェルカムランチを開いて頂き、そこで現地の学生さんと一緒に食事をし初めての交流をしました。

文化交流の時間では現地の学生さんにヨガを教えて頂きました。呼吸を整えて、ゆっくりと動くヨガは思っていたよりも難しかったです。私達は「二人羽織」や「だるまさんが転んだ」などを紹介しました。遊び方の説明が難しく苦戦しましたが、楽しんで頂けてとてもよかったです。現地の学生さんとコミュニケーションが取れるか不安でしたが、言葉の壁を越えてたくさんの貴重な体験をすることができました。



● 概要 大学院内にあるスピーチクリニックでの様子を見学するほか、講義や学生交流を通して言語聴覚について学びます。

日程	スケジュール (2017.3.12~3.21 実績)	
	AM	PM
1 日	中部国際空港発	ホノルル国際空港着
2 月	オリエンテーション、見学:ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部	歓迎昼食会、学生交流会、臨床見学:ハワイ大学言語聴覚クリニック
3 火	講義:「失語症と認知症」「嚥下障害」	討論会見学:「発音矯正」、臨床見学:ハワイ大学言語聴覚クリニック
4 水	見学実習:ハワイ大学言語聴覚クリニック	臨床見学:ハワイ大学言語聴覚クリニック
5 木	講義:「運動性発話障害」など	討論会見学:「自閉症の経験」
6 金	臨床見学:現地小学校やクリニック	学生との討論、クローゼングセッション、修了式
7 土	フリータイム	
8 日	ホノルル国際空港発	
9 火	中部国際空港着	